

○ 株式会社 再創社は、下水道処理施設及び梅干製造施設から生じた有機性汚泥を発酵処理し、ペレット状の汚泥肥料「りそうの肥料」を製造・販売。

■国内資源の種類 ■肥料の種類・肥料名称 ■取組の経緯・内容・成果（見込み）

- ・有機性汚泥
(下水道処理施設由来)
(梅干製造施設由来)
- ・汚泥肥料（ペレット状）
・りそうの肥料

■作物 ■主成分の含有量（％）・特徴等

・梅

N	P	K
4.08	5.01	0.64

取組の経緯

・和歌山県みなべ町では、下水汚泥（有機性汚泥）の堆肥化施設がなかったことから、運搬コストをかけて、遠方で処分していた。循環型社会の構築とコスト削減を目的に、みなべ町ほか周辺の清掃関連11社でつくる（株）再創社が、令和2年に「みなベコンポストセンター」を建設・運営。

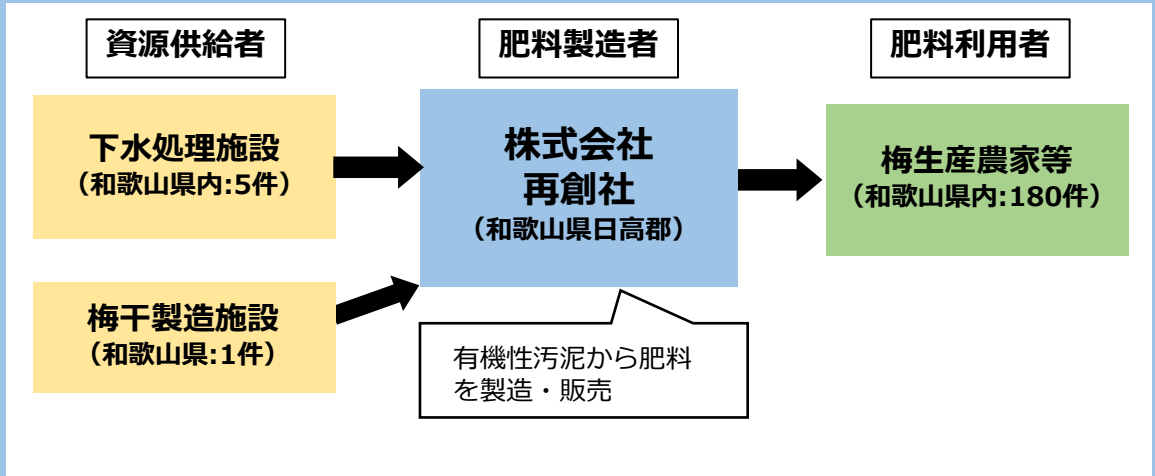
取組の内容

・縦型密閉発酵機にて短期間での発酵処理を行い、汚泥肥料を製造。
・扱いやすい製品にするためペレット化し、地元で安価にて販売。

成果（見込み）

・ペレット化や安価販売により、地域農業者の利用が拡大。梅農家を中心に様々な品目での利用が広がっている。
・発酵機増設により生産量が約65%増加。
・市販の有機配合肥料と比較し、「りそうの肥料」を用いた施肥体系での施肥コストは約70～90%減少。

■主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■今後の課題・取組

- 原料となる有機性汚泥の調達。
- 生産量増加に伴う、新規肥料利用者への周知。
- 生産コスト削減。

